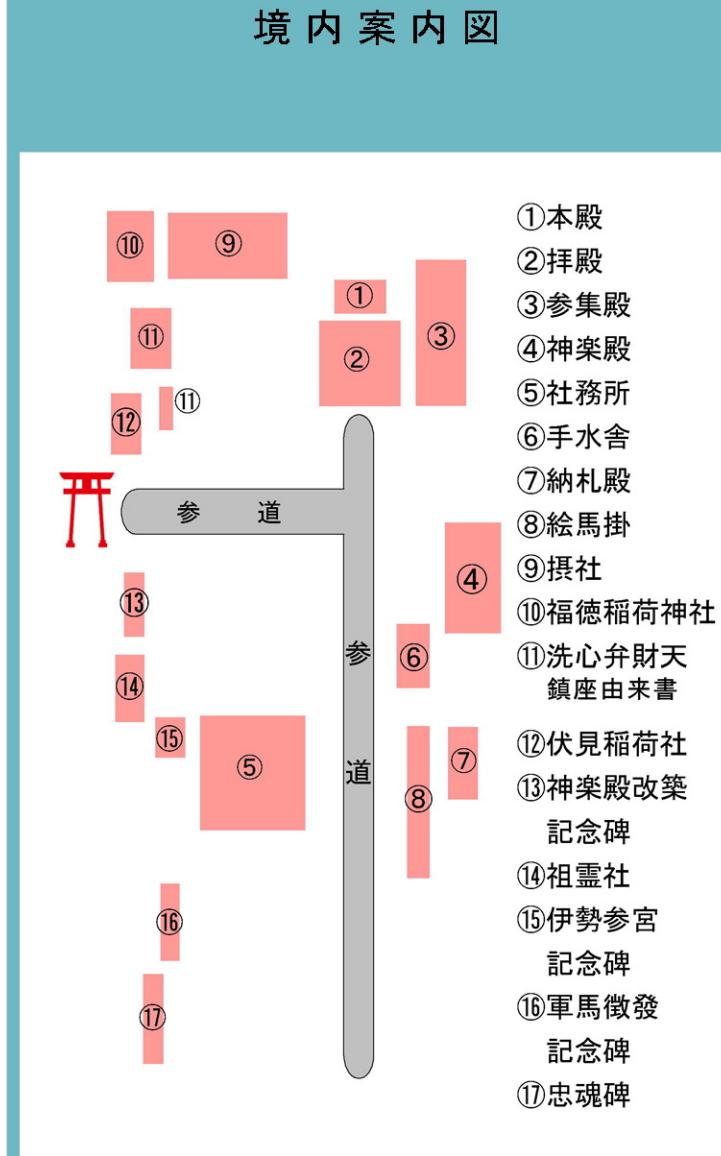


# 尾崎神社 参拝のしおり



御鎮祭座神地  
奇稻田姫命  
素戔鳴尊  
川越市笠幡一  
二八〇番地



⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①



## 摂社の神社名・祭神名

- |         |              |
|---------|--------------|
| ①・疱瘡神社  | 少彦名命         |
| ②・稻荷神社  | 倉稻魂命・宇迦之御魂命・ |
| ③・天满天神社 | 菅原道真公        |
| ④・養蚕神社  | 宇氣母智命        |
| ⑤・嚴島神社  | 市杵嶋姫命        |
| ⑥・御嶽神社  | 大山咋神・国常立命・   |
| ⑦・三峯神社  | 伊弉諾尊 伊弉冉尊    |
| ⑧・妙見神社  | 天御中主命        |
| ⑨・琴平神社  | 大物主神 崇德天皇    |



## 創建

当神社の創建は詳かでありませんが、日本武尊東征の折、台地はずれの見晴らしのよい所ゆえ尾崎の宮と称えて二神を祀つたと伝えている。

元正天皇の靈龜二年（七一六年）に武藏の国に高麗郡の設置により、帰化人の持つ高い大陸文化が高麗から川越・江戸と伝わっていった古代の高麗街道沿いに鎮座せる当社は、鎌倉・室町・江戸の各時代より厚い信仰を集めている。



当神社の南方には小畔川の清流が西から東に流れ、境内地約千坪の神域には、川越市の巨木として紹介されている幹周り三米の「杉」と「檜」の木を始め、永年の風雪と歴史を物語る老杉等が聳えており、平成二十年六月十一日 川越市緑化推進要綱第九条第一項により「保存樹林」に指定されました。



青銅製神社名額

榎本武揚



川越市指定文化財  
天文20年(1551年)鋳造

武州高麗郡笠幡

尾崎と陰刻



川越市指定文化財  
天文20年(1551年)鋳造

大日本國武州高麗郡笠幡

尾崎と陰刻

## 史蹟

神社の裏に幹回り六米高さ三十メートルに及ぶ老杉があり御神木としていた。その根元に空洞があり大蛇が住んでいると伝えられ、周囲を三回まわると大蛇が出るという伝説があり、この木にはようほどこのことがないかぎり近寄らなかった。この老杉も昭和四十七年に枯死せるも、川越市教育委員会発行の「川越の伝説・代一集」に収録されています。



## 主な祭事

## 縁 祈 願

元旦祭	1月1日	厄除	(方災除)
川越市指定無形民族文化財 (芳地戸のふせぎ)		家内安全	
	春分の日	交通安全	(新車清祓)
例祭	5月3日	安産祈願	
夏越祓	6月30日前後	初宮詣	お宮参り
七夕祭	8月7日前後	七五三詣	
秋祭	10月15日	商売繁昌	他
新嘗祭	11月15日		

地鎮祭等の  
各種出張祭典も  
隨時承っております。

予約(社務所)  
TEL049-233-2803  
FAX049-231-3461